

風邪症状は、新型コロナウイルス感染症の重要なサイン場合があります！

風邪かな？と思ったらまず電話！

- 本人 ・かかりつけ医に相談し受診  
・勤務先に連絡して休む
- 企業 ・本人を休ませて受診を勧める



広島県HP一部引用  
広島県新型コロナウイルスまとめサイト

## 「かかりつけ医」に電話で相談！

まず、かかりつけ医へ電話で相談し、医師の指示に従ってください。

### 注意

かかりつけ医で対応できない場合は、診察・検査のできる医療機関を紹介されます。

## かかりつけ医のいない場合(その1)

「積極ガードダイヤル」に電話  
(広島県の受診・相談センター)

☎ 082-513-2567  
(24時間対応)

近隣の診察・検査ができる医療機関が案内されます。

## かかりつけ医のいない場合(その2)

「発熱や風邪症状に対応する外来」が設置されている医療機関へ電話し指示に従ってください。

- ・発熱者の入口・診察室等を分離して診察する体制の外来。
- 「発熱や風邪症状等に対応する外来」一覧：三原市のHPへ
- ・PCR検査実施医療機関を周知するものではありません。



## 陰性

症状が治まれば勤務可能

## 医師の判断によりPCR検査

結果判明まで自宅待機 結果は速やかに職場へ報告

## 陽性

### 本人(陽性者)

- 保健所の指示に従って、感染症指定医療機関等へ入院し治療します。  
(宿泊型療養施設の場合もあります)
- 保健所の積極的疫学調査(行動履歴聴取)に協力します。

### 接触者・濃厚接触者になった場合

- ・「接触者」、「濃厚接触者」とされた旨を勤務先に連絡
- ・保健所の指示に基づき、PCR検査を受診
- ・検査結果判明まで自宅待機(概ね翌日夕方まで)

### ■濃厚接触者の場合

結果が陰性であっても保健所の指示する期間中は自宅待機(最終接触日の翌日から2週間)

### ■接触者の場合

検査結果判明まで自宅待機となり、基本的には、結果が陰性であれば勤務可能ですが、接触状況によっては、自宅待機になる場合があります。

### 参考

#### ■「濃厚接触者」とは…

国立感染症研究所によると、「患者(確定例)」「無症状病原体保有者」を含む。以下同じ。)の感染可能期間(発症した2日前から隔離開始まで)に接触した者のうち、次の範囲に該当する者を指す。

- ・患者(確定例)と同居あるいは長時間の接触(車内、航空機内等を含む)があった者。
- ・適切な感染防護無しに患者(確定例)を診察、看護若しくは介護していた者。
- ・患者(確定例)の気道分泌物もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者。
- ・その他:手で触れることの出来る距離(目安として1メートル)で、必要な感染予防策なしで、「患者(確定例)」と15分以上の接触があった者。(周辺の環境や接触の状況等、個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する。)

#### ■「接触者」とは…

広島県では、感染者と発症前14日間など、一定期間に同一空間に居た人を「接触者」として、また感染者と感染可能期間に同一空間にいた人を「濃厚接触者等」として、症状の有無に関わらず検査対象とし、広範な調査を行い感染者の早期発見を推進しています。(実際には、積極的疫学調査により個別に判断されます。)

【企業】陽性の判定があった場合は、以下1)～5)の手順に対応します

感染者及び家族の誹謗・中傷は絶対にしないでください！

### 1) 保健所の積極的疫学調査に協力します。保健所から勤務先に聞き取りがあります

陽性となった従業員について、保健所からの求めに応じて情報を提供します。  
「発症日の2週間前～最終勤務日までの間」接触のあった同僚、仕事の関係者についての情報等。

### 2) 直近の企業内の利用場所・物品を可能な範囲、消毒します

ウイルスはプラスチック・ステンレスの表面では3日間生きてるといわれています。

- ・消毒用エタノール(濃度70%以上)又は0.05%の次亜塩素酸ナトリウム希釈液(錆び・色落ち注意)  
(水1ℓにハイター等家庭用塩素系消毒液キャップ1杯 25ml)
- ・感染者が触れた部分を中心に拭きます(噴霧しない)。手袋・マスク・ビニールエプロン等防護具使用例:電話機・机・ドアノブ・引き出し・共用の物品・トイレ等
- ・保健所に相談の上、専門業者による大規模な消毒が必要な場合は、業者へ連絡。

### 3) 接触者・濃厚接触者の対応 保健所の指示に従って、PCR検査を受けます

### 4) 保健所に相談し、臨時休業が必要か検討します

- コロナ対応のBCP(業務継続計画)を策定している場合、計画に沿って実行してください。
  - ・検査を受けた方:検査結果判明まで(概ね翌日夕方まで)自宅待機になります。
  - ・濃厚接触者:結果が陰性であっても保健所の指示する期間中、自宅待機になります。  
(最終接触日の翌日から2週間)
  - ・接触者:検査結果判明まで自宅待機となり、基本的には、結果が陰性であれば勤務可能ですが、接触状況によっては、自宅待機になる場合があります。

### 5) 企業からの公表(プレス発表)は企業で判断します

- ・一般向けに周知が必要な場合は、保健所に相談し、プレス発表やHPでの公表などを検討してください。
- ・企業がプレス発表を行う場合
  - ・感染拡大防止に必要な範囲で行い、決して個人情報が増えることのないように配慮してください。
  - ・情報の取り扱いの責任者を決め、説明が複数名でばらばらにならないようにします。
  - ・プライバシーの配慮が重要であることを踏まえた上で、どのような情報を発信するか十分に検討します。

・広島県の公表は、現在、陽性が確認された日の夜から翌日に行われています。

#### 【個人情報については守られます】

公表内容は6つのみ ①居住市町 ②年代 ③症状経過 ④入院等の状況 ④他事例との関連 ⑤県外の往来

集団発生事例や不特定多数との接触が疑われる事例は、個別に詳細を公表します。また感染拡大防止のために必要がある場合、施設名等を含め積極的に公表を行うとともに、発生が続いている時期においては、定期的に発生状況について分析した結果を県が一括して公表します。



必見!!

# 新型コロナウイルス対策Q&A



## Q1) 新型コロナウイルス感染症とは?

- ・コロナウイルスの一つ。
- ・自分自身で増えることはできないが、目や口の粘膜に付着して入り込んで増える。
- ・プラスチックやステンレス等の上では、3日間程度感染力が続くと言われてている。

## Q2) 症状は?

- ・風邪様症状から重症肺炎、下痢など、自覚症状のない感染者も多い。
- 国内事例**
- Aさん 発熱(38.2℃)、関節痛、味覚障害
- Bさん 発熱(37.0℃)のみ
- Cさん 味覚障害のみ
- Dさん 倦怠感のみ

## Q3) 潜伏期間は?

- ・1~14日(平均5日程度)
- ・症状のでる2日前よりウイルスを排出する。
- ・症状が出た直後に感染力が最も強く、発症後8日で感染力は大幅に低くなる。

## Q4) ウイルスの体への入り方は?

- 接触感染**  
手についたウイルスで顔を触って入る。
- 飛沫感染**  
人の口から出たしぶきを吸い込む。
- マイクロ飛沫感染**  
換気が悪い密閉空間で飛沫を吸い込む。

## Q5) 重症度は?

- ・感染者の80%が……軽症
- ・感染者の15~20%が……重症化
- ・感染者の2~5%が……生命の危機
- 高年齢・基礎疾患のある人は重症化しやすいので特に注意

## Q6) 発熱などの風邪症状のあるときは?

- 外出を控える**  
仕事や学校は休んで外出は控える。
- 医療機関への相談**  
軽い症状の風邪でも、すぐに身近な医療機関や「積極ガードダイヤル」に電話し相談する。

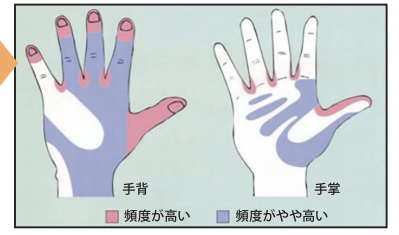
## Q7) 感染予防方法は?

- 感染予防の5つのポイント**
- ① 3密(密集・密接・密閉)の徹底的な回避。
- ② 体調管理
- ③ マスクの着用・咳、エチケット
- ④ こまめな手洗い
- ⑤ 身体的距離を空ける。



**手洗いがとても大切!!**

- ・手洗いは30秒かけて流水と石けんで丁寧に。
- ・汚れが残りにくい場所はここ!!



## Q8) 感染疑いの通知を受取る方法は?

- 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA) 厚生労働省**  
新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性について通知を受取る事ができる、スマートフォンのアプリ。  
【アプリのダウンロードが必要(無料)】
- 広島コロナお知らせQR**  
施設やイベントの入口等に掲示してあるQRコードを読み取ることで、利用した施設やイベントにおいて感染者が判明した場合、同じ時間帯にいた登録者へお知らせが届くシステム。
- 上記は拡大を抑えるエチケットツール。是非ご利用ください

## Q9) 活動する際に気をつけることは?

- 感染リスクの高い5つの場面**
- ① 飲食を伴う懇親会等 ② 大人数や長時間におよぶ飲食
- ③ マスクなしでの会話 ④ 狭い空間での共同生活
- ⑤ 居場所の切り替り(休憩時間・喫煙所)
- 冬場の感染対策!**
- 【換気】エアコンをつけつつ窓を少し開け、常時空気を入れ替える
- 【湿度】50~60%を保つ。加湿器や濡れたタオルを干す等
- 【インフルエンザとの同時流行の予防】
- ・基本的感染予防の徹底・体調不良時、早めの電話相談・受診
- ・インフルエンザ予防接種

- 感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫とは**
- ・飲酒するのであれば、
- ① 少人数・短時間で
- ② なるべく普段一緒にいる人と
- ③ 深酒・はしど酒などはひかえ、適度な量で
- ・箸やコップは使い回さず、一人ひとりで
- ・座の配置は斜め向かいに(正面や真横は避ける)
- ・会話する時はマスク着用
- ・換気が適切になされているなどの工夫をしているガイドラインを遵守したお店で
- ・体調が悪い人は参加しない

## Q10) 陽性者が発生した場合、事業所の消毒は必要ですか?

- 陽性が判明した場合、事業所や営業所を業者または従業員による消毒をすることが望ましい。
- 業者に依頼する場合: 専門業者(清掃業者)に直接連絡し依頼する。
- 自社で消毒する場合: 消毒作業時の感染の予防を徹底し、以下の点に留意し行う。
- 服装はサージカルマスク・手袋着用・ビニールエプロンなどで体を覆い、防護を行った上で実施します。
- ・床や壁の大きかりな消毒は不要です。
- ・陽性者の触れた場所を消毒剤(消毒用エタノール(濃度70%以上)あるいは、0.05%次亜塩素酸ナトリウム希釈液)にて清拭します。
- ・噴霧による消毒ではウイルスが飛散するため望ましくありません。消毒液で拭くことが重要です。
- ・陽性者が使用した職場のコップ等は洗浄または漂白します。
- ・陽性者の飛沫が付着している場所やトイレの床は広めに消毒します。
- ・作業後、流水・石鹸で手を十分に洗い速乾性擦式消毒用アルコール製剤により手指消毒を行う。

## 厚生労働省HP 新型コロナウイルスに関するQ&A



(一般の方向け)



(企業の方向け)

## 【企業の平常時の対策(事前準備)】

- ・コロナ対策責任者や社内の予防推進組織の決定 ・従業員の発熱、風邪症状が出たときの対処
- ・病院への受診有無、PCR検査有無等の結果報告基準や報告ルートの作成
- ・労使にて発生時の報告基準、特別休暇や手当、在宅勤務について協議し、正確な情報把握と安心して休める、休ませる環境を整備  
※接触者や濃厚接触者が自宅待機する期間中、隔離された状態でテレワークができるような環境・体制整備も検討してください。
- ・陽性者発生時の対外公表の方法や監督当局などへの報告基準の明確化 ・消毒作業をお願いできる清掃業者の選定
- ・消毒用薬剤やマスク、ゴム手袋などの消毒用備品の準備 ・BCP(事業継続計画)の策定(商工会議所が策定をお手伝いします)。

## 【企業の普段からの備え(陽性者が確認された場合への対処)】※感染に関することは、保健所の指示に従ってください。

- ・企業責任者への連絡方法 ・対策実行本部の責任者とメンバーの選任と招集方法 ・該当者の職務や行動履歴調査の担当者 ・消毒班の選任
- ・対外公表責任者の選任 ・臨時休業の方法、周知方法 ・報道対応責任者



## 三原商工会議所のホームページ…

中小・小規模事業所への各種支援策を記載しておりますので、是非ご利用ください



## 三原市民の新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口 → 三原市保健福祉課 まで

三原市ホームページ「新型コロナウイルスに関する情報」

